

令和5年度あおもりフィールドスタディ支援事業

事業成果報告書

事業名
浅虫未来づくり計画検証事業

実施者
イノベーターズ

イノベーターズとは

テーマ

地域の復興

地域の課題発見

解決策の模索

実行

学生が現地訪問や交流を通じ、図のプロセスの中で組織において機動的な活動と革新的なリーダーの在り方を学び、活動を通して、地域組織の在り方を知り、自己成長につなげることを目的とする団体である。

事業概要

事業立案の背景

浅虫地域の人口減少や衰退という様々な課題を学生の視点から解決したい。

事業の内容、目的

- ・浅虫未来づくり計画を振り返り検証し、浅虫地域の人々と協力し合いながら、浅虫の地域活性化を促す
- ・学生が企画運営したイベントや、SNSでの宣伝や発信を通し、より多くの人に浅虫の魅力を知ってもらう

事業の目的

1

浅虫未来づくり計画を振り返り検証し、浅虫地域の人々と協力しながら、浅虫の地域活性化を促す

2

私たちが企画運営したイベントで多くの人を浅虫に呼び込むとともに、SNSでの宣伝や発信を通して、より多くの人に浅虫の魅力を知ってもらう。

3

フィールドスタディを通して浅虫と他の地域を比較研究し、浅虫がより発展できる方法を浅虫街づくり協議会とともに協議する。

活動内容

- 1 他の地域との比較研究
- 2 浅虫のイベント（文化祭・WA）の企画運営
- 3 浅虫まちづくり協議会への参加

事業実施場所

比較研究

- 十和田市
- 浅虫地域

イベント 月末マルシェ

- 道の駅ゆーさ浅虫
駐車場

浅虫まちづくり 協議会

- 道の駅ゆーさ
浅虫会議室

事業の実施スケジュール

月	事業内容
4月	チーム編成
5月	浅虫まちづくり協議会参加
6月	イベント企画運営、浅虫地域との連携交渉、月末マルシェ参加、浅虫まちづくり協議会参加、未来づくり計画振り返り
7月	イベント準備、月末マルシェ参加、浅虫まちづくり協議会参加
8月	イベント準備、月末マルシェ参加、浅虫まちづくり協議会参加 フィールドスタディ計画
9月	イベント準備、月末マルシェ参加、浅虫まちづくり協議会参加 比較研究
10月	浅虫文化祭10月14日開催 浅虫の和10月29日開催
11月～3月	浅虫街づくり協議会参加・振り返り 比較研究での研究報告、協議

①比較研究

ベース

浅虫未来づくり計画

①若者

③イベント

②空き家

④外国語
対応

①若者

- 若者についての検証は未来づくり計画の「みんなの心身を育む」①多世代での親・交流活動という項目のほか目指す町「みんなとつながるホットな浅虫」というキーワードに対して行われた。行った理由としては浅虫の人口減少は凄まじく、若者離れが進んでいるとまちづくり協議会で聞いたからである。十和田市にあるサウナを見学し、浅虫地域でもサウナを作っては良いのではないかという提案をまちづくり協議会で行った。

②空き家

- 空き家についての検証は浅虫未来づくり計画（以下未来づくり計画）の「II 住まいと暮らし」①住居の確保と空き家対策に対して行われた。行った理由は浅虫に空き家が多く、有効活用できていない現状があったからだ。まちづくり協議会はこれに対し、空き家をまとめたサイトの運用などを検討している。

③ イベント

- イベントについての検証は未来づくり計画「iv多くの人が集まる仕掛け」外部を巻き込んだイベントというキーワードに対しておこなわれた。行った理由は自分たちが開いたイベントになにが足りないかを見出し、浅虫のイベントに活かすために行った。十和田市のイベントを取材し、まちづくり協議会で単日ではなく浅虫マルシェや自分たちのイベントを組み合わせ一定期間行うことを提案した。

④外国語対応

- 外国語対応についての検証は未来づくり計画の浅虫の課題Ⅲの中に記載されたインバウンド対策に対して行われた。また浅虫の目指す「よぐきたねsea 誰もが楽しめる浅虫」になるためになにが必要かを考えた。行った理由は魅力たっぷりの浅虫にきてくれた人全員に楽しんでもらうため。インバウンドが多く、特に注目すべきだと考えたから。外国人に人気の青森市にある複数の施設を見学し、QRコードを利用した翻訳や説明文の利用等をまちづくり協議会に提案した。

②浅虫のイベント

文化祭

- ・サークルパフォーマンス
- ・浅虫住民パフォーマンス
- ・グルメ

浅虫のWA

- ・グルメ
- ・日本文化体験
- ・パフォーマンス

浅虫文化祭

日時

2023年10月14日（土）

テーマ

浅虫の文化祭

目的

パフォーマンスを通して笑い合い、楽しみながら**和**を広げ、
交流の**輪**を広げる。

内容

大学生と浅虫住民との交流（道の駅ゆーさ浅虫、浅虫琴の会、
浅虫町会軽音楽部、芋煮会）、青森公立大学の各サークルに
よるステージ発表

当日の様子



青森公立大学よさこいサークル
パフォーマンス



会場の様子（奥にキッチンカー）

浅虫のW A

日時

2023年10月29日（日）

テーマ

浅虫のW A

目的

浅虫地域で活躍されている飲食店やイベントと協力し、浅虫の魅力を伝え、
浅虫と若者をつなぐ

内容

月末マルシェの協力を得て、月末マルシェとの共同開催とする。企画の開催場所は、ゆーさ浅虫の駐車場一ヶ所で行うことにより、雰囲気を作ることとした。内容として、抹茶体験や棒パン作り体験を体験活動として実施し、抹茶ミルク、ワッフル、おしるこ、久慈良餅の販売をする。

当日の様子



桜風書道教室によるパフォーマンス



棒パン体験

得られた効果

1

浅虫に興味を持ってもらえた

2

イベントを通して浅虫の魅力を発信した

3

大学生と浅虫住民との交流（浅めし食堂・浅虫町会・
浅虫がっちゃんこ・道の駅ゆーさ浅虫）

4

参加人数 文化祭：469名 和：805名

③浅虫まちづくり協議会への参加

まちづくり協議会へ参加し、浅虫のロゴづくりや運営に携わったことでまちづくり協議会の方と親交を深めることができ、イベント等に協力してもらえた。

今年度決算

－収入－

単位：円

区 分	決算額	摘 要
自己負担額	90,190	
サークル活動費	72,690	大学から支給される活動費
サークル会費	17,500	500円×35名
市補助金額	356,000	令和5年度あおもりフィールドスタディ支援事業補助金
合 計	446,190	

－支出－

単位：円

科 目	決算額	内 訳			摘 要
		自己負担	補助金	その他	
事務費	31,313	3,313	28,000		イベント用消耗品費
原材料費	153,147	31,147	122,000		イベント原材料費等
報償費	12,500	2,500	10,000		講師謝礼
使用料及び賃借料	168,030	18,030	150,000		会議室等使用料
印刷製本費	29,680	6,680	23,000		ポスター印刷費他
広告宣伝費	21,600	21,600	0		イベント広告費
旅費交通費	29,920	6,920	23,000		移動交通費
合 計	446,190	90,190	356,000		

協力団体

浅虫まちづくり協議会
道の駅ゆーさ浅虫
浅めし食堂
菊屋餅店
桜風書道教室
神戸屋呉服店
芋煮会
浅虫町会軽音楽部
浅虫琴の会

まとめ

1

浅虫地域と連携し、浅虫未来づくり計画を振り返り検証しながら、浅虫の課題解決に取り組むことができた。

2

イベントの企画運営をすることで浅虫地域との交流を深めるとともに、浅虫の魅力を若者世代にも発信し、体験してもらえた。

3

浅虫地域との継続的な関わりを持ち、まちづくりに貢献した。